



新年のごあいさつ



～学びあふれる教育のまち かめやま（亀山市教育大綱 基本理念）～

新年おめでとうございます。令和6年（2024年）、皆様におかれましては、すてきな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、3学期がスタートしました。各小・中学校においては、インフルエンザ等の感染症対策をしっかりと行い、引き続き特色のある学校づくり、学びの継続、一人ひとりの可能性を引き出す学びの充実のために尽力してまいります。昨年は、感染症流行の中、教育関係者・団体並びに地域の皆様方のご協力により、様々な行事を工夫して実施することができました。改めて感じたのは、子どもたちは、子どもたち同士のかかわりの中で、学び成長していくということです。加えて、学校が地域の方々の協力や支援をいただき、学校行事を充実させていく中で、地域の方々ともつながっていく過程は、とても重要と考えます。

亀山市内のすべての小・中学校は、コミュニティースクールとしての学校運営協議会を設置しております。今年も引き続き地域とともに歩む学校づくりを進めてまいります。同時に見える学力の向上とともに、見えない学力の醸成を促し、生きる力の育成に努めてまいります。

さらに、国の「予測困難な時代」を踏まえたこれからの学校教育のあり方を検討した『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～の趣旨に基づき、誰ひとり取り残さない教育の充実に向けて、一つひとつ着実に取組を進めてまいります。具体的には、不登校児童生徒への対応では、登校しづり対策としては、市立図書館における市独自の「サークルルーム」の継続運営、校内教育支援センター（校内ふれあい教室）の全小中学校への設置と活用を推進させます。また、NPO 団体と共催した不登校生徒の進路を支援する「きめ細やかな支援のための進路（進学）相談会」「考え合おう、不登校ひきこもり「冬の対話集会」」の開催、外国人未就学児童・保護者対象の「プレスクール（るんるんスクール）」や外国人児童生徒・保護者対象の「学校へ行こう～外国につながる児童生徒のための進路説明会～」の取組など、これまでの実践を継続してまいります。



生涯学習関係においては、昨年は、青少年育成市民会議によるサマーキャンプでの交通安全教室や大学生講座・防災学習・キャンドルファイヤー、各種表彰式、子ども



会育成者連絡協議会主催の野外体験学習・旅籠玉屋宿泊体験学習・親子フェスティバルなど、多くの参加者のなかで実施することができました。

社会教育関係では、引き続き「かめやまお茶の間 10 選（実践）」の取組を続けてまいります。この 10 項目は広く一般市民・保幼認小中の保護者・高校生から「家庭で実践したいこと」として公募し、その具体的な取組内容を 5・7・5 の標語にしてまとめたものです。今年度のアンケートには「子どもが図書館でおもしろかった本を薦めてくれたので、私も読書しました。お互いどこがおもしろかったかを話し合い、



楽しい時間を過ごせました。」「どんなに忙しい朝でも、機嫌が悪い時でも、必ず『おはよう！』『行ってらっしゃい！』を言うようにしています。」などの感想が寄せられました。（詳しくは本市社会教育 HP 参照）毎年継続的に実践することで、家庭教育力の向上を感じているところです。その他の取組においても、継続し実践してまいります。

さて、新しい図書館は、1月26日で開館1周年を迎えます。現在来館者が26万人を超え、今月から来月にかけて、関係者や図書ボランティアの方々の協力を得て1周年記念イベントを開催させていただく予定です。基本理念「学びの場からつながる場へ」のもと、図書館を中心とした文化の発展に向けて、さらに尽力してまいります。



今後も、亀山市ならではのきめ細かな教育活動、学校運営、生涯学習、図書館運営の推進のために、今年も、市民・地域の皆様方をはじめ、教職員とともに、話し合いを重ね、歩んでまいります。



今後ともご理解とご協力をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

令和6年 新春

亀山市教育委員会教育長 中原 博